

インフラ用ロボット開発・導入に係る 試行的導入支援業務の成果報告会を開催しました！

H29. 5. 10

和歌山河川国道事務所 河川管理課

- 国土交通省と経済産業省が共同設置する「次世代社会インフラ用ロボット開発・導入検討会」では、インフラの老朽化や大規模災害、また人口減少・少子高齢化が進む社会情勢に対応した効率的な維持管理・更新を可能とする技術開発・導入が検討されています。
- 今回、次世代社会インフラ用ロボット開発・導入に係る試行的導入として紀の川(岩出狭窄部・直川地区)^{のおがわ}の低水護岸や河床地形の計測調査が行われ、その成果報告会を開催しました。
- 今後、水中ロボット等の開発・導入を積極的に進めることで、より効率的・効果的な河川維持管理の実現が期待されます。

概要

- 日 時 : 平成29年 5月10日(水)
- 場 所 : 和歌山河川国道事務所 5階会議室
- 参加者 : 計27名 (職員:16名(事務所8名、本局8名)、業者等11名)

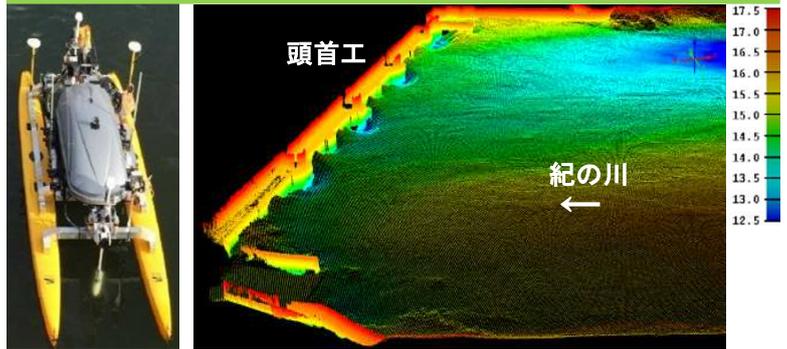
実施状況

成果報告



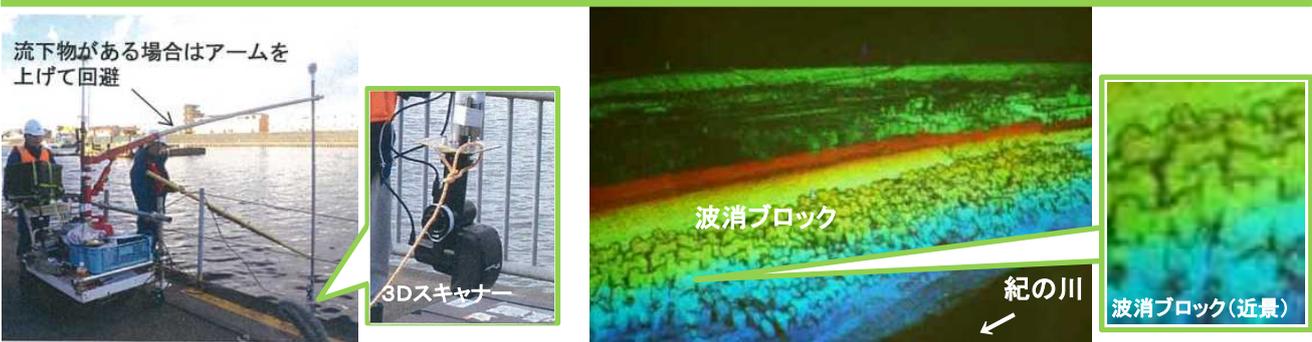
調査実施業者による業務成果報告の様子

水中心検ロボットと3次元モデル鳥瞰図



水中心検ロボットの精査計測により頭首工部を3次元モデル化することで、河床状況(標高)の確認が可能。

水中3Dスキャナーと3D点群モデル



水中3Dスキャナーにより水中部の3D点群モデルを作成することで、護岸・構造物(消波ブロック等)の状況の確認が可能。

- ・参加者からは、「水中ロボットはどの程度の流速に耐えられるのか」、「3Dモデルを用いて損傷箇所の対策工などの検討を行うことは可能か」などの質問があり、維持管理についての議論が行われました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 河川管理課
〒640-8227 和歌山県和歌山市西汀丁16番 TEL 073-402-0267

